

1. 件名：「日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所  
第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリング（68）」

2. 日時：令和5年5月30日（火）14時35分～16時50分

3. 場所：原子力規制庁 8階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

菅生主任安全審査官、上野管理官補佐、大塚安全審査専門職、森田安全  
審査専門職、大島原子力規制専門員

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

廣田主任技術研究調査官、山田副主任技術研究調査官、入江技術研究調  
査官、竹野技術参与

日本原子力発電株式会社

廃止措置プロジェクト推進室 室長代理 他9名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成27年7月16日）  
「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書を受理」  
<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000045.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成28年12月26日）  
「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書の一部補正を受理」  
<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000170.html>
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所第二種廃棄物埋設事業許可申請に関する資料提出（令和5年5月19日）  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tekigousei/nuclear\\_facilities/WAS/tokaiL3/meeting/index.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tekigousei/nuclear_facilities/WAS/tokaiL3/meeting/index.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	日本原子力発電株式会社から申請がありました、総会低レベル放射性廃棄物埋設事業所第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリングを行いたいと思います。
0:00:18	本日文字起こしでありますので、発言される際には所属と名前をお願いします。
0:00:27	まず出席者の紹介をいたします。原子力規制庁から研究炉等審査部門より、ウエノオオツカモリタオオシマ a s 後です。
0:00:38	それから放射線廃棄物研究部門より、ヒロタヤマダイリエタケノ。
0:00:45	が、探しております。衛藤日本原子力発電株式会社の方からの出席者の紹介をお願いいたします。
0:00:53	宮野ハママツです。対面とウェブということで、それぞれセッションおります、対面側ですけれども、挨拶プロジェクト推進室からのうち、
0:01:05	このCタナカハウチンノムラ、あと私ハママツ6名です。ウェブ側の3ヶ所ですけれども、拝察コアシ排装置プロジェクト推進室からイマヅ、
0:01:18	タケゴシマシモサクマの4で、合計10名の参加になります。以上です。はい、ありがとうございます。はい、規制庁のすごいそれでは早速ヒアリング入りたいと思います。本日、5月19日付で提出いただきました。
0:01:35	資料の内容について、ヒアリングを行いたいと思います。前回のヒアリングで、我々の方から埋設地の設計と、
0:01:43	低透水性覆土の施工時に編成する場浸透量体積でちょっとまとめていただきたいというリクエストさせていただいて、それに沿って資料を移していただきました。ありがとうございます。
0:01:57	もう19日に提出されてて、我々中身確認してますんで、もし、
0:02:05	何かこの点は説明しておきたいところがあれば、説明いただいてもしなければ我々の方からちょっと質問に入らせていただきたいと思います。
0:02:19	日本原子力発電の小橋です。今回ヒアリングの時間をいただきましてありがとうございます。
0:02:24	審査の資料につきましてはご要望の通り、今回論点になっている1から3で、施設設計と、施工の全体今後の施工の実現性と浸透流解析にまとめさせていただきました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	この方がおそらく審査会の中ではわかりやすいのかなと思いますので、非常にありがたいご指摘をいただいて、まとめ直してきたと思います。
0:02:44	ちょっと1点申し上げておきたいのは、次我々シーケンスを作るときに、黄色いハッチングをして変更箇所がわかるようにしています。ただ資料2と3につきましてはこれ、
0:02:55	変えたものの前のものがないものなので、あまり大きく変わってないところについては、不要であろうと思ってきま、こちらの説明は追記してるんですがそこは確認しておりません。ただ、露木に関しましてはこれ設計の、
0:03:08	細かなところも記載してるところがございますので、これ河本の審査資料に戻った時に、変わって変わってないか、誤解が生じるといけませんので、今回は全部で、追加したところはタイトル対キロっていうハッチングをして、
0:03:21	中身で表現が変わったところはその該当部分、旧ハッチングで記載させていただいております。そのように読んでいただいていると思いますので、一つだけ申し上げます。ありがとうございました。
0:03:32	そう。それでは、ちょっと我々の方から、質問というか、コメントをお伝えしてちょっとヒアリングしたいと思います。
0:03:44	都市領域関係から進めたいと思います。藤。
0:03:49	松田主務から、今回のEPAとの比較で衛藤。
0:03:56	東海の埋設地がどうなのかというのをまとめていただいていると思うんですけども、
0:04:01	5ページの、
0:04:03	大井。
0:04:04	いえもう、
0:04:06	僕の6ポツ3ポチさんの技術的考慮事項の中に、
0:04:11	この真ん中辺り、ほぼ表面に用いられる材料は次のようなものであることになって、一つ目の黒丸で、
0:04:21	降雨や風などの極端な気象においてな。
0:04:26	出るんですけども、今回ちょっといただいた資料を確認して後からも、追加で質問あると思うんですけど、降雨の設定が5年間の工業、
0:04:40	からの評価に染まっているような気がしてですね
0:04:45	極端な気象っていうところをどのように、の解釈されて、今回評価されたのかを説明していただいてもよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:02	本現象関西の中です。ありがとうございます。大宮小においてということですけども、降雨の条件としましては、
0:05:26	糞が、
0:05:28	今後ですね、エロージョンレイヤーについての下部のインフィルタレーションレアいうレイヤーを保護するために、
0:05:40	神戸さんの負担な気象で残すってこと室で、員エロージョンメディアってというのは、技術課の境界線さんの場合は、
0:05:54	系統推薦のその上にする方法、及び合同葬に該当するものですね、こちらについては、ご指摘いただきました。先週、
0:06:05	この点を踏まえて自己評価を行っております。自己評価の中で判例
0:06:11	及び進捗の中での降雨の設定ですね、こちらを実施しております、
0:06:18	資料でいきますと、
0:06:23	降雨とだんだん先生で、平成 23 ページですけども、
0:06:37	この構成矩形 9R というのは、第 9 表、
0:06:43	第 9 表に、侵食量の評価のパラメーターっていうところで、侵食量係数 R というものがあるんですけども、こちら 4600 ページ見ますけれども、
0:06:55	こちらの設定にあたって、例年、気象の平年値をする 30 年間のデータの中で最も
0:07:06	降水量が多い 1 号、1911 年でありますけれども、選定して、この年の降水量を見ると、
0:07:13	ということで、30 年間の中で一番雨が多い汚水のを、
0:07:19	設定した場合の政策了承ということでございます。以上です。
0:07:24	麻生です。今のご説明だと、あくまで、年間降水量として、一番多かった 91 年を、
0:07:39	そう想定してくれば、
0:07:41	設定してるってことです。
0:07:44	あります。はい。その考えは、やっぱり、
0:07:51	一方、
0:07:53	ちょっと従前から今福工藤の、
0:07:57	何て言うんですかね、安全性というか、
0:08:00	その保護層のところちょっと危惧してるのがまあ、ほぼそのものが崩壊したりとか、
0:08:08	シクもそうなんですけど、そのときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:13	考えられるので集中豪雨かなと思ってですね。
0:08:16	そこら辺は今回、
0:08:18	僕は知らないんですか。
0:08:23	貢献する。
0:08:27	なお、いただきました、新スゴウ等ですね、こちらについては今回の審査資料に記載をしている部分は、有井ます。
0:08:38	7 ページ。
0:08:48	7 ページの表現の
0:08:52	小児の上から 2 段目のところで、左側 A P M として肋骨 33 の方で滑り安定性というのがありますけれども、平瀬、
0:09:04	境界面に沿って常駐する土壌水の間隙水圧が安定性を実績に低下させる可能性がある、こういう記載がありまして、そちらに対する対応という、
0:09:15	目で、意見を記載しておりまして、
0:09:18	については、福生堤防清掃から排水することで、ボード及び系統数粘土層の境界面において、月の翌月は状況次第、
0:09:29	ということで記載させていただいてます。なので排水をしっかりするので、雨が降った時の安定性については問題ないという、
0:09:39	宴会でございます。以上です。
0:09:42	スゴウです。はい。うん。
0:09:45	わかりました。多分、後でちょっとそこら辺質問があります。一応、考えてせ、評価して、
0:09:58	今年ですか。
0:09:59	今のご説明の関連なんですけれども、そうしますとその排水、
0:10:06	この排水能力といいますか、掘削抵抗性んで構成層のプロセス係数が試験で決められてますんで、その時の水量っていうか、サポート設計数で、いわゆる年降水量みたいなものではなくて、途中集合みたいに短時間
0:10:21	ちょっと待って見たときの水であっても、排水し切れるものは評価されてるとい、
0:10:29	規制庁 5 という意味でございます。設置豪雨という意味でいきますとすごく降雨強度の強い場合 1 時間当たりの雨とか、10 日の場合と例えば 80 ミリとかっていうのがやっぱり記録あるんですけれども、その雨が降ったときに、排水工がどのようになるのかっていう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:49	ような、ちょっと定期的な評価っていうのは、現時点では行っていません。一方で、排水工の厚さの設計っていうのはご指摘いただいたE Pってありまして、
0:11:00	どれぐらいの朝に透水係数がまず来なさいすることっていうのもありますので、それらの試算をした上で、排水こうなただだ 30 センチ以上を指しております。
0:11:11	その範囲で、なるほどっていう状況です。
0:11:16	規制庁の津田でございます。ありがとうございます。ちょっとこの後、我々の方から 10 幾つかそのプロ関係の質問するんですけども、前提としてですね何を気にしてるかということ、一番気にしてるのは、
0:11:29	その袋が崩壊しないかどうかというのを聞いてて、その崩壊のメカニズムとして、想定しているのが、その一つはパイピングですね
0:11:40	下から砂が流れてきてやっぱ穴が、その工藤や寺本官房喜納パイピングと、
0:11:47	小貫がその分の斜面のところに、沿岸住んでた中に入ったんですが十分に排水されなくて、その斜面のところに水がたまって
0:11:57	それが重くなってですね、それでとかいう掘削抵抗性層との間の界面で滑ってずっと崩れるみたいなですねそういった公開も、これ実際にその土木食う関係の現場でいろいろある。
0:12:09	と、田上で聞いておりますけれども、ちょっとそういった社会モードが起きないかという観点を非常に気にしていてちょっとその関連で幾つか質問させていただき、
0:12:21	ベンチはすごいです。
0:12:23	それから、5 ページのおんなじの関係で、
0:12:29	一番、スターで、家庭、
0:12:33	今日、
0:12:35	不安等が促成カバーの劣化要因となる地域では覆土上に、採石が施設施設されるってなってますね、わざわざ赤字で下線も引いてるんで、
0:12:51	今回のシークスの国に当たるっていうことでこうしてるのかどうか、ちょっと確認したいんですけど。
0:13:00	日本原子、関西の仲です。ご指摘ありがとうございます。ちょっとパパの書き方が誤解を与えるような形で申し訳なかったんですけども、この赤をした人っていうのは、砕石等が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:14	教えることが、それはおかしなことではないっていうことを、ちょっとした付託を受けていましたって一方で、その河成調布基本等が職制カバ―に対してどうかっていうのが、東海においてどうかっていうと、
0:13:27	あそこはなかなか東海の地域性。
0:13:29	ちょっとそれは不適切だよというようなところを検討しているわけではなくてですね、そういう意図で書いてもらわないっていうことです。一方で
0:13:40	今回は超長期の状態設定を行うというところもありますので、直接、気温とか、測定ではないけれども、仮送金を見たときに、
0:13:53	解析というのは考えられるというふうに思っております。以上です。
0:13:57	麻生さんありがとうございました。今、あくまでその採石。
0:14:02	施設するっていうこともできるんじゃないかということで、
0:14:07	わかりました。
0:14:16	盛田です。今のに少し関連してっていうところなんですけども、5ページのところでですね、時間を植生の代替として使用してっていうところで、
0:14:30	右側のページの右側のところの赤字で書かれてるところで、侵食の観点で、までパコってというのが、
0:14:40	植生よりも、優位性がある。
0:14:43	方法ってというような記載がされているんですけども、この理由、この結論に至った根拠ってところが少しわかりにくいかなってところがあるんですけども、これは、
0:14:56	なぜ、この直線よりも若干ってというのが、優位性があるのかっていうところについて少しご説明いただきます。
0:15:05	はい。芸術家発電の金岡です。ご指摘ありがとうございます。5項の優位性についてですけども、水性動もですねもちろん侵食抑制には十分国或いはE P A記載されておまして、
0:15:19	その辺については私も、なんつうか黄色なんですけども、やっぱり一番ポイントになるのは維持管理の点だと思っております。という形の主体でもう基本的に維持管理をするという前提で、以前の場合、30年がスタンダードとなっておりますけれども、
0:15:35	植生の維持管理とすることによって侵食の防止っていうふうになっているんですけども、今回予算の場合は、やはり1000年という超長期の状態設定を行うにあたって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:48	ストレートな表現でいうと、宣伝後に、その植生が期待している、侵食防止の効果を発揮してくれるかどうかというところを考えたときに、
0:16:00	その観点でいくとお方法の方が、天然素材で阿部%値在校生活動にあるということを考えて優位性があるという表現を使っております。
0:16:10	以上です。ご説明ありがとうございます。
0:16:15	ですねそのあたりもう少しどういうメリットデメリットがあつてついでいうところで、植生とかポップですね、どういう検討した中で、そういう結論に至ったかというところは少し説明をしていただいた方がいいのかというの具体的なところでは、コメントになります。
0:16:34	あとですね、今、30年っていうところで、植生の管理がつけるところがあったかと思うんですけども、今回その若干を使用してついでいうところで、若干石井の部分自体は丁寧な意味で、
0:16:48	劣化しないっていうところはあんまり理解するところであるんですけども、やっぱり薬として使用するついでいう時に基本的に一般的に言われてる薬ついでいうのは鉄線で負われて過誤として使ついでいうところなんですけれども、
0:17:01	その訂正が、
0:17:03	おそらくその鉄線ついでいうところも大体30年程度で劣化して、壊れるついでいうような認識が一般的にはされているかと思うんですけども。
0:17:12	そういう中で若干小ついでいう、枠組みが壊れて、医師が、
0:17:20	馬場に言ったような状態になるかと思うんですけども、そういう観点でも問題ないのかついでいうところについてももう少しご検討いただければという。
0:17:29	石井はジャカゴついでいう形成された形でなくても問題ないついでいうところであればそれは一つの考え方だと思いますけれどもその辺りの考え方も少し、
0:17:39	ご説明いただいた方がいいかなというふうに
0:17:45	ご発言の中です。ご指摘ありがとうございます。
0:17:49	ご指摘の通り確かに血栓が切れた状態であろうというところの違いについて、明確に今述べている部分は、あと、ありませんので、そこについての見解をご審議お願いしたいと思います。考え方としては、
0:18:04	地質環境の状態設定主査自然事象、あと、添付リストですね、抽出した影響事象分析、これらを、の中で、方向に影響のありそうな事象という

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	のを抽出しております、それがどのように影響するのかっていう観点で、
0:18:19	評価してるんですけどもそのときに、血栓のあるなしでどうなのかっていう感じだと思いますので、こういうところをもう少し詳細に記載したいと思います。ありがとうございます。
0:18:29	ありがとうございます。よろしくお願ひします。今の点に関しても、もう1点だけ確認したいんですけどもEPAのガイドの方で、医師が
0:18:42	直接の代替として使えるっていうような記載が赤字で記載いただけてますけどその下に
0:18:47	職制のカバーの劣化要因となる保険に対しては在籍を置いて補強するというような形の記載もされているかと思ひますけども、
0:18:55	ここの成績を単純に見たときに、一番下の層植生があつてプラス、
0:19:01	火があつてっていうのが一番いいんじゃないかっていうふうに見えてしまうんですけどここまで、この、この植生プラス若干っていうような形にせず若干のみっていうところの、
0:19:13	一番植生も、
0:19:16	聞いた上でっていう選択をしなかつたっていうのが、どういふ理由なのかっていうところについてはいかがでしょうか。
0:19:23	関西の田中です。ありがとうございます。繰り返しの説明になってしまうんですけども、やはり1000年後のことを考えたときにどうかっていう維持管理の観点からいくと、1000年後の植生を、がありますよという、
0:19:39	なかなかコピーっていうのは難しいということがあつて、それでもの状態尾藤するときに、そここの植生の存在を前提とできないということ考えると、最初の時点で植生を'として、
0:19:54	評価すると、適切と考へているんです。以上です。
0:19:59	宮森ありがとうございます考へ方について、承知いたしました。
0:20:03	で、衛藤院長で続けておつたんですけども7ページのところで、したいことがあるんですけども、
0:20:12	えつとですね、ここで排水の説明が中段のところでされておひまして、掘削抵抗性等から発生することで、
0:20:25	関係水圧が上昇しないっていうふうな説明が記載されておひますけれども、これについては、その排水能力を有しているっていうことはいえる

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ってというのは、これは資料3の一井で試験の説明がされていましたがけども、
0:20:41	こちら、ここからこういうふうな記載になってるという理解でよろしいでしょうか。
0:20:52	長谷野中です。ご指摘ありがとうございます。ご指摘いただきました通り、資料3-1、鳥飼の方で、掘削抵抗性等からの排水の方に、はい。ご指摘の通り、
0:21:05	わかりました。ありがとうございます。こちらちょっと関連は資料3-1の方になるかもしれないんですけども、この、こちらが布施空港製造の要請危険さん。
0:21:17	を設置して、データの中で、開示できるっていう取りケースを持ってっていう形でやられてるかと思うんですけども。
0:21:25	この試験の中でその布田を重点その医師の間に砂を入れて、調整係数がどう変わるかっていうような実験をされてるかと思うんですけども、この実機の続きの砂進め方だったりとか、例えばどういう締固め具合です砂を入れてるかだったりとか、
0:21:43	空隙率がどんな感じで入れてるかとか、そういうところは、実際に施工するようなときに、こういう形で作りますっていうような状況を再現して、知見をされているのか、それとも、
0:21:55	実際は、
0:21:56	例えば医師を置いて、直井で決めてですけど今回はもう水に水と一緒に、売り手だとか、その管理医師と医師の間隙にそういうふうに詰めた状態で試験をしてるのかっていうところについてはいかがでしょうか。ちょっと城田さん。
0:22:12	所。
0:22:14	二本木スーパーバイザーの方。
0:22:16	試験内容の詳細はちょっと持ち帰り確認させていただきたいんですけども、
0:22:21	今資料3-1の11ページとか、概略図を示しますが、うち大木と外容器で分けて、うちの方に割り振り紙を入れて、
0:22:33	その中に砂を徐々には詰めてっていうところが実際です。ですので、かつ水で締めながら入れているので、これ以上も閉まらないよっていうところまでは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:43	入りませんよっていうところまでは試験をした結果が、示してる結果になります。だから 20%ぐらいまでの砂しか入らなかったってのが実施実際の試験結果なり、なってます。
0:22:56	それがじゃあ施工と同じなのかというと、施工時は、いささかちょっと違うと思いますんで、あくまでもこういう試験をしましたっていう結果でしかないの、間違いなく施工と一緒にすかっていうと、
0:23:09	一社ではないです。はい。はい。意見は、かなり締め固めるっていうところは意識してやられそうです。これ以上は何か入らないというところまでは確認していますので、
0:23:21	はい。実際の施工でこれぐらい同じぐらいなるんじゃないかなというふうな、
0:23:27	ありがとうございます。
0:23:34	所の方の、
0:23:41	越冬
0:23:43	ウエノから、そっちに入ってくる、つながみみたいな話ですか。はい。最初に詰めるという話をしてあって、表面警察でるって感じですね。そうですね。つまり試験を受けてると思いますので、
0:23:59	状況があって、
0:24:01	考え方を教えて。
0:24:04	どういう、はい、日本 1 週間前ハウチンです。ただいまご質問いただいた内容としますと、掘削抵抗性層の中には上から砂が入ってきてしまう前提になっているって、考えましたので、
0:24:19	始めた施工の段階で、砂をある程度進めてしまう。
0:24:22	を考えていますので、試験としても、ある程度そのオーバリング品なんかで繋がる詰まる詰まってる詰めた状態で模擬的にいろんな試験をやったというのが、本日、
0:24:37	試験なんですけど。はい。詰めるっていうと、最初からそう判断した状態で、1 個、
0:24:47	奈須麻生じゃなくて関医師を置いてそれから綱を開いて、
0:24:57	考え。
0:25:00	はい。日本でしようから、今山田さんがおっしゃったような本当に施工した時の状態を模擬した試験なのかっていうと先ほど回答したように、全く同じ状況にはならないんで、試験としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:12	今おっしゃったように割り振る実証入れて、それに直間を入れたっていうだけの試験になってます。
0:25:18	で、谷山さんが気にされてるのは、それが前提として考えても、掘削抵抗性その形として、上からただ入ってきただけでは、この試験、もう初めからですね、違うねというご指摘なのかなと理解したんですが、そういう値。
0:25:34	行きますとそこまで施工試験として形を作ったの模擬まではしてないというところが、
0:25:43	はい。
0:25:44	回答としては、
0:25:47	各種試験の方は、
0:25:55	に、菅生。
0:25:57	大家といいですよ。そうです。麻生磯田。
0:26:05	に、そうです。
0:26:08	アメリカは、上から見えました。
0:26:22	実際でしょ。うん。
0:26:29	はい。
0:26:34	うん。
0:26:37	うん。
0:26:42	どうですか。
0:26:44	清戸井田でございます。今の試験ですか、部材試験といいますか、そういうもので、いろんな特性値、
0:26:55	もうやりましょう。これは一般的なやり方だと思うんですが、それが実際のものの値を代表してるかどうかっていうのはまた別問題だと思うんですね。
0:27:10	ですから、この試験方法をやれば実際の方と、同等もしくは、より良い性能が上がるよというようなことは、何らかの形で示していただかないと、
0:27:22	小さな品質のところ、例えば実験やったら、大きなところの設計施工で、もうイコールだよというふうには、話もない、ある場合もありますので、そこは、
0:27:33	示していただくんですが、そういう意味で、そこに何らかの関係がありますよというのが示していただければ、このオオツカ試験なりこういう試験をやることによって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:45	実際の見通しがつけられる。
0:27:48	いろんなロジックですね、ここはどの試験でも同じなんですけど、やっぱりそういうテンパイが必要かなというふうに思っています。以上です。
0:28:02	兵庫県の発電の方で、ご指摘は、今ちょっと、明確に施工が考えてる状態と、試験の状況が一致してるのかっていうところ、
0:28:12	疑問があって、
0:28:14	ちょっと間近に確認して、回答させていただきたい。
0:28:18	以上です。
0:28:20	関野まで等、それで考えないかと思うんですけども先ほどちょっと少し前のあの辺の質問に持ってたんですけども先ほど統制係数は同じ県から出してっていうところで、
0:28:33	ご説明いただいたんですけども、その到達ケース本当にその排水能力ってというのが、どれぐらいの、どれぐらいの量が排水できるか、どのぐらいの雨が降ってどれぐらいが排水できて、
0:28:47	その機能っていう排水能力っていうものが実際に担保されるかっていうそういうところについての説明っていうのはありますでしょうか。
0:29:01	弊社の田中です。
0:29:03	5時でございますけど、今いただいたそれぐらいの雨が降って配信能力としてそれがどう担保できるかっていう点ですけども、先ほども少し触れたかもしれないんですけども、
0:29:15	降雨の強度に対して、排水移送においてどれぐらいの雨が降って、どれぐらい、飯野小口なるのかっていうことを直接的に今ご説明しているというのは、ありません。ちょっと今後、
0:29:30	教えていただいた点については、お示しの仕方、ご説明いただいていくつか意見させていただきたいと思います。ご確認させていただきますけど、あれですよ。すごく、
0:29:41	強い雨が降ったときに、それが入ってきてちゃんと排水できるのか、その辺の話ですよ。そうですね。はい、わかりましたありがとうございます。ありがとうございます。
0:29:55	きちっとヤマダでございますと国井斜面と、下流側ですよ。
0:30:01	安倍です。
0:30:07	それから、
0:30:11	これがちゃんとその排水ルールがあるかどうか。
0:30:24	おります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:29	も原子力発電の高田です。ご審議ありがとうございますをいたしました。
0:30:35	すごいです7ページ関係よろしいですか。
0:30:41	A、
0:30:42	9ページ。
0:30:44	と、今回透水係数をして、上水係数にしたと思うんですけど、これに変えた何か理由っていうのはあるんですか。
0:30:58	うん発電がですね、ご指摘透水係数に変えましたのは、
0:31:04	平均値とか、ずっとそれぞれ行って行って取ってきた統制ケースそれぞれが、
0:31:15	基準に達しているかっていうのを確認する必要があるんですけども、ご指摘透水係数という考え方を、
0:31:24	空間的に空間として、
0:31:29	空間で見た場合の透水能力というんですかね、透水性が
0:31:35	表現できますので、空間で見た場合で透水の基準以下の透水性を有しているかというのを示すために、
0:31:48	業種的透水係数、考え方を使っていただく。
0:31:53	そうですね、多くの空間でっておっしゃったんですけど、この空間ってどれくらいの空間とかっていうのは考え、想定されてたんです。
0:32:05	今回の資料では施工試験でやってる、狭い範囲ではございますけれども、実施施工においては覆土、
0:32:17	もう広い範囲で、
0:32:21	透水性を持っているか。
0:32:25	この広い範囲っていうのは、
0:32:27	全体でっていうことですか。はいとですね、覆土施工している単位とか、その東と西で分かれていますので、
0:32:41	実際あるときは
0:32:45	1、1山というんですか。
0:32:48	そう説明してない、順々にこう、
0:32:53	やってくっていう説明あったじゃないです。
0:32:55	あれぐらいの単位っていうイメージですから、順々にある1個分とか、
0:33:01	ここ、元ノムラです。
0:33:05	最終的には全体として評価することにはなると思うんですけども、施工体ごとに確認していく必要はあると考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:18	計算はそうです。はい。
0:33:21	副社長の布田でございます。今の件についてなんですけれども、我々としてですねその概念設計のところもそうなんですけど公共規制の一つ確認。
0:33:31	その分係数人数ですね。
0:33:34	どのぐらいの、この巨視的っていうのがどのぐらいの単位で考えていらっしゃるって、それを実際は
0:33:44	小規模の試験で要はこういう締固め方法でどういう作業であれば、できますというのがあってそれを現場レベルに拡張するんだと思うんですけども、
0:33:54	の時のですねどういう範囲で考えてらっしゃるのかっていうところが、やってるのがまず一つと、もう一つがちょっとこれは
0:34:05	多分日本原燃の申請書等シーケンスっていう表現を使っているんですね、おそらくそれに合わせたのかなと。これまでそういう議論なかったのに今回入れてきた。
0:34:15	これなので、勘ぐってはいるんですけども、
0:34:19	原燃の施設の場合は5案、ご存知の通り完全にあれ水没しますよね。しかも、その下流側の方にも難透水性覆土で巻かれていて、仮に
0:34:30	上流側で少しその統制です。はい。
0:34:34	の中に、
0:34:35	水はその下流は何と水洗で抑えられるので、流出FLACSってのはある程度抑えられるであろうっていうのは想像できます。
0:34:44	他方今回の現在3の施設の場合は、その下に筒抜けますので、例えばその保守的透水係数って言って
0:34:52	本当にその全体バルブで見た時に10の前10乗ぐらいなんですけれども、どっか普通のところがあってですね、そっから入ると入ったのを済ましてしまいますので、
0:35:05	そのFLACS数がそこで
0:35:08	作業に出てくるんじゃないかなってのは懸念としてあるんですねそういうのもあって、
0:35:14	保守的って言った時にどのぐらいの
0:35:17	その都度といいますか、スケール感で考えてらっしゃるのかなっていうのと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:22	あともう一つが、戸松としてどんなふうにするのか、要は1桁ぐらいの1人ですっていう設計なのか、それとも何といいますかどこをとっても中の出張メーターパーセクは市がそれぞれ以下、
0:35:36	です。
0:35:41	番場されます。
0:35:44	はい。
0:35:47	2点いただいた日本就活の浦です。大きく2点いただいたかと思うんですけどもどのくらいの単位で確認していく必要があるかっていうスケール感ですかね。
0:35:58	ていうところについては、ちょっと今検討中のございまして、そういった、
0:36:04	範囲で確認取っていくかっていうのが適切かっていうのは、ちょっと考えているところのございまして、適切な
0:36:14	範囲がどれかっていうのは、
0:36:18	山路瀬古うに当たって確認スルーようかなとは思ってるんですけども、
0:36:26	ちょっと持ち帰り検討したいと思っております。
0:36:30	あともう一つ許容範囲がどのくらいかっていうところにつきましては先ほど申しましたように
0:36:44	一部、その基準を超えたものがあっても、その場所だけ多く水が流れてしまうような状況が想定されるんですけども、
0:36:57	浸透流解析等でも、解析で確認しておりますけれども、トレンチごとに、
0:37:06	全体、3年間に何ミリ、
0:37:10	ていうす水が入らない。
0:37:13	ていうところで、確認する必要があるかなと思うんですけども。
0:37:18	そういったところで全体としての透水係数が、
0:37:23	基準値、
0:37:26	分以内で、
0:37:29	年間に埋設しに入ってくる水の量が、その一定以内であれば問題ないというふうに考えてございます。
0:37:40	規制庁の奥田でございます。ご説明ありがとうございます。今毎年に入ってくる水の量が年間1できないということだったんですけどもおそらくこれ、今後ですね評価のところも関係してくるんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:55	何て言いますか優先からですね、塗料浸透流堆積は浸透流解析であるんで、
0:38:00	ただこのモデル化するためにいろんな仮定を置いていると思うんですよ。で、それが実際の実験さんのその次の状況と合ってるか、それがその長期の状態設定にちゃんと繋がってるかっていうのは多分おそらく今後の確認なのかなと思う。
0:38:17	とりあえず今の考えは今どのようにお考えかというのは話をしました。
0:38:26	山尾でございます。
0:38:29	極端に北国市のところの税に、
0:38:34	だけでアウトかどうかということではないと思うんでマップ財源たりってというのは、そうだと思います。
0:38:41	プロジェクト数係数という場合に、大ざっぱに、普通、影響があり得ると思って、一つはその分析、水野岩井車でも全体はカバーできる。
0:38:53	わかるでしょうし、一方で、弱いところがネットワークを形成するぐらいあると。
0:39:00	ていうところですね。もう交換時に、伝わるっていう場合もあると。それは安達戸部千葉の月であるとか、
0:39:13	一泊まで、
0:39:15	アップしてるんですけど、もう一つは、
0:39:21	式を使ってやられてますけれども、確か処理する限りこれはをしてきたということ、それから、
0:39:34	品質に、
0:39:41	暴れたけども、そのことも同じぐらいの危機でありますと、いうときに、
0:39:50	はい。
0:39:52	そういったときに、
0:39:55	そういうばラッキーなんでしょうか。例えばその施工単位であるとか、ロット民のものであるとか、それから、
0:40:06	巻き出し安本に
0:40:10	はい。バラックより、偏りであるとか、いろんなことがあり得るんですけども、そういったことをどう傾向として先ほどこう進めて、
0:40:23	資金を用意して良いかと。
0:40:28	おそらく、
0:40:29	10、10 団地、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:32	真島パ
0:40:42	院長勝連ノムラです。ご指摘ありがとうございます。
0:40:47	2点いただいたんですけどもまずコア、この檀の式っていうのが法案を想定してるっていうところですけども、藤佳代さんの施設は、基本的に9本を想定してございます。
0:41:01	不1点は太フォアの方が透水性が、
0:41:09	低くなると。
0:41:12	あとは
0:41:16	ベントナイト、オンロード使いますけれどもベントナイト混合度、
0:41:23	粘土質でございますので、方は比較的高いところに、
0:41:29	行っているんで、本案に近い想定で考えても問題ないかというところで、
0:41:36	特に問題がないのかなというふうに考えてございます。もう一つはばらつきがどの程度考えているかというところでございますけれども、
0:41:48	ばらつきにつきましては、製造時のばらつきっていうのを管理するっていうのが一つ。
0:41:57	施工時についても、事前に施工するっていうところで、ばらつきを把握しておくことで、実際でき上がったときの、
0:42:07	全体的なバランスっていうのは一定範囲に収まるように、実行できております。
0:42:14	どの程度のばらつきを許容するかというところ。
0:42:20	もうございますけれども、そこについてはちょっと検討しているところでございます。
0:42:31	今もですね、社長は、実際は、当間と田井のバッチの話をされましたけれども、
0:42:40	地公体だとか、地方、
0:42:46	いないっていうそういうよろしい。
0:42:50	施工につ
0:42:52	んてのばらつきっていうのは事前に施工試験等で
0:42:58	ばらつきの範囲を確認した上で目標値を定めて、
0:43:03	性能が
0:43:06	最終的に透水係数がどの程度っていうところに、基準値におさまるように施工も施工中の目標値を定めて施行する。
0:43:28	土佐嶋須藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:33	施工試験で求めているのは、同じ材料に管理する。
0:43:38	試験を行っていて、
0:43:40	一方、利益の方のPATCH等、
0:43:46	変更する。
0:43:47	それをかけ合わせた時を考慮する。
0:43:56	材料と施工全体管理した元ノムラです。ご指摘はその材料と、
0:44:03	製造時で、私と江藤施工を全体をひっくるめて管理する、しているかというご指摘。
0:44:12	小径とったんですけれども、
0:44:16	ばらつき要因いろいろありますので、それぞれをまず要因が何であるということを、分析をした上で、それぞれがどういう特性を持っているのか、或いは関連があるのか。
0:44:31	そうすると、その上で、全体として発想。
0:44:39	ないのかっていうこと。
0:44:43	で、
0:44:47	ちょっと、
0:44:49	今落ちると、それぞれ答えられてる感じがしてる。
0:44:55	大杉さん。
0:44:58	おそらくわからないので、
0:45:03	原燃の野村です。それぞれ飛びます。ちょっとすいません。ちょっと、それぞれ
0:45:16	お風呂を作ると。
0:45:18	ベントナイトと現地発生を分けて作るじゃないですか。
0:45:22	ベントナイトは弁当ないので、同じロット買ってきても、ある程度残すし、
0:45:27	次ありますよね例えば有効も売れないと。
0:45:32	他にもちょっと学びます。
0:45:34	もうバツになりますと、
0:45:37	浅部も同じ場所から、
0:45:39	多分同一ってことはなくて、ばらつきあります。
0:45:42	あとその施工方法も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:44	全く同一のやり方で、例えば10回繰り返し、2、全く同じ数字になるかというとなんなことないですねばらつきありますよね。なので、その材料もある分があって、
0:45:54	施工でも、ある分布があるというとその全体のその仕上がりのそのバッチの掛け合わせになるんじゃないですか。
0:46:02	その不確かさ。
0:46:04	そうした時に、
0:46:05	全体のばらつきの範囲として、どのぐらいを想定していて、それをその施工の中でどの範囲で抑えようとしてるのかっていうところもその一連のストーリーといいますか。
0:46:17	その全体像がちょっと見えませんということですね別途台座ベントナイト施工工場で個店それぞればらつきの説明されてるといのは認識してるんですけども、
0:46:26	実際のでき上がったその物のばらつきがあるので、
0:46:31	全体像がちょっとよくわからないという時期だと。
0:46:36	皆さんちょっと施工関係で、設計でございます。今規制庁側からいくつか質問といいますか、やっぱ、
0:46:47	ベンダーさんが作業としては、材料とか施工とかいろんなところにばらつきは当然あります。その認識はありますという、実際、先方なりしたところで、サンプルをとってコアサンプルとかと、
0:47:03	防水性能みたいなものを測りますと、いうのがやっぱ、今言う巨視的な捕集係数の視点だと、ということだと思います。そうすると、
0:47:15	要はウエノがよくわかんないんですけども、施工実績から評価をしましょうという、いわゆる実績評価。
0:47:25	みたいなやり方をご提案されてるんだと思ってるんですが、そうなるそう。
0:47:30	実績評価する場合には、相当な数が、要はその数学的っていうわけ性格的っていいですか相当な数、例えばNが50個ですね、そういうものがないと、実績評価ってなかなか難しいんだと思うんです。だっていろんなものが入ってます。そうですねそういうやり方を、
0:47:49	やるのか。いや一方で、さっき山田から言うように、ウエスタガード設計と言いますか、それとも設計、材料はこういう原因とか、そういう設計として、どういうやり方をしております。それはもう全く違う手法なんですよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:08	ですから、まず、どちらがやりますかということがあるんですけど、この報告書とか、申請書の中では黄砂全社といいますか、実績で評価をしましょうというふうに今なってるように見受けられます。
0:48:22	そんなちょっと件数が数点あるっていうのは、本来でやっぱし=50とか100とか、それぐらいないと、ばらつきを含めた評価っていうのは多分できないので、そこは少し
0:48:38	検討していただきたいということ。
0:48:41	で、ついでにもう1点は、保守的っていう話が、2、
0:48:45	確かに1.1点で評価するっちゃうのはなかなか難しいよねと、いうようなことで、覆土全体の性能ということで見なきゃいけないんだけど、そんな時に、
0:48:57	平面的なものとか、断面っていうか倉庫とかいろいろあって、それは何をどういうふうにとってきたら、覆土の代表値として、
0:49:09	どんな性能として見れるかっていうことは、これを示していただかないと、1点やったからいい100点やったり、なかなかそこは収束しないので、その
0:49:19	ここはサンプルを取るという方法であれば、それが覆土の性能としてあらわせるんだよというところはちゃんと示していただかないといけない。
0:49:30	それは、500平米2三本でいいんですよとか、例えばここ10本でいいですよとか、それをどういうふう処理をすることによって、保守的な透水係数としてあらわせることができる。
0:49:42	ですから、10のマイナス10乗というす
0:49:46	目標値があってそれを、
0:49:48	終わってもいいわけですよそこはどういう考えの中でやっていきますかっていうことをきっちり説明していただかないとそこは、
0:49:56	ということがいっぱい。
0:49:58	で、もう1個ついでに言いますと、今、JISの0312で透水係数を評価しようとしてますが、あくまでもこれは先ほど言いました室内試験、
0:50:08	やりますので、この主催試験の
0:50:11	値が、実際の覆土の製造をダイレクトにやらしてるかどうかっていう観点も実はありますので、それで十分だよと、この試験方法をやることによって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:23	実際の袋の性能として評価するにあたり、できる試験方法だと、いうことも示していただかないといけないといえますのは、
0:50:34	このJISの試験方法は基準をちゃんと見ると、
0:50:38	使って要件っていいですか範囲っていうのがあるんですね。こういう時には使っていいけどこういう時には、ちょっと考えなさいみたいな感じで考えますので、そこに対して、今回の材料とか、
0:50:52	とか、適用できるんだよということをやっぱり示していかないと、
0:50:57	何か試験法があったからそれやりました。だからオッケーでしょっていうのは、実はこれならないんで、それは一般的な社会基盤の設計でも同じなんですからそれは当たり前を示している。
0:51:08	世の中として、ただ、例えば国土交通省さんの、例えば道路基準とかいろいろありますが、あれは主要規定になってますので、これでやってくださいっていうふうになるので、
0:51:20	今回は性能規定でお示しされてるわけだから、その性能に対して、使った方法が、ちゃんとその性能を表すものであるということを示す。
0:51:32	BMが、これ事業者さん側にありますので、そこをやはりきっちり説明していかないといけないということで、
0:51:40	小田は以上です。
0:51:44	野村です。ありがとうございました。もう1いただいたと思うんですけども性能規定で説明するためにはちょっと点数が少ないということで、
0:51:57	いや、違います。実績で高出力した場合には点数が少ないと。
0:52:04	設計で示そうと言ったときにはそれはまた別なのでそこはちゃんと面積になっていただきたい。すいません。はい。
0:52:10	しました上村です。実績でどういう、何点取ればってというのが適切かっていうところもございますので、そういったところろうについてちょっと説明の仕方を検討したいと思い
0:52:25	ます。
0:52:26	もう一つJISのやり方ですけど、もうちょっと要件ある。
0:52:33	適正、適用できる要件というのがあるというところなのでちょっとそちらについても確認した上で、ちょっと説明をしたいと思います。
0:52:57	後、
0:52:59	日本に、
0:53:08	の中で、全体を追っていくと5%ぐらいの方についてももちろんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:16	その人の 56%、ここの地域危険。
0:53:26	去年としては、そこ、
0:53:31	のところ、
0:53:32	もう評価させる。
0:53:36	見れば、
0:53:38	O K。
0:53:41	ですね、のように、
0:53:47	本当なんです、
0:53:50	そうですね。
0:53:54	連絡する。
0:53:56	本画面ぐらいまで、この
0:54:13	メーター。
0:54:24	やはりデータくう。
0:54:27	しっかりと上に、
0:54:30	思われるところに、
0:54:43	保健所関連の方からですね、ご審議ありがとうございます。
0:54:46	今ご指摘がありました 1 点目の 56%勾配の成熟量につきましては、技術評価 5%、50%が決定を行っておりまして、結果は 23 ページに記載しております。
0:55:04	バーの事情をご覧いただくと、15%面と 56%面と二つ書いておりまして、16%の方が、大変割合一番講習会で年間 0.1%と全体ですね。
0:55:24	55%と 0.16%と同じぐらいな、赤レンガっていう、50%の方も評価をしています。ほとんど近いなっております今、
0:55:36	ヤマダの方からご質問のフォローできてるところがあるんですけども、
0:55:43	購買については、生殖評価の中で、N - S という意味ですか。
0:55:50	メーターをさしております、小林が急な場合ですけども、こちらは長坂先生としては結果的には 15 日、
0:56:03	通常は 1.1、2 点目につきましては、堀場いたとバイテックの
0:56:14	永戸東は、1 度熊井便が落ちた後少し平らになってそのあともさらに落ちている部分かと思えます。で、
0:56:25	こちらにつきましてはその部分には V 層とかはもう大丈夫。
0:56:31	やっておりますね、本ということについてはここまでというふうになっておりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:56:43	別。
0:56:46	ほぼ、
0:56:58	09年、
0:57:08	を、
0:57:14	この裏面のところの、
0:57:17	基準として、一番下の方ですんで、あそこからずれて、上の方に
0:57:29	宗米田。
0:57:31	どうしたい。
0:57:35	4の説明と考えてないんですけど、
0:57:39	日本原子力発電の田中です。今のご指摘をいただいた点は、
0:57:44	今の23ページで言うと、例えばウエノsX断面で行ってた右側のうちの一番右下のところという。
0:57:53	本当にそうVista部分ですね。
0:57:56	のところの侵食はどうかという、
0:57:58	方針。
0:58:01	はい。言われた内容はどうしますか。
0:58:05	進捗ショッカー対象としてますので、こちらについてのご説明についてお伝えさせていただきたいと思います。
0:58:13	はい、ありがとうございます。
0:58:19	利用率で、
0:58:22	あった
0:58:29	これを見てもこれが、
0:58:32	一方、
0:58:37	何かその辺の考え方がある。
0:58:42	全くはこれ使ってるような件数ですね。
0:58:47	もっといろんな遡上状況それから、植生等を含めて状況に対して、
0:58:55	労働するかというデータは、代替するパラメータ化して、
0:59:01	あとは、上っていか、物理的な現象を言ってて、
0:59:07	やります。
0:59:09	特に経験や支給は、
0:59:19	適用範囲にあるのかどうかということが非常に重要だと思います。
0:59:24	で、
0:59:27	今回使われている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:29	設定は、
0:59:31	何かあまりない状況だと思いますんで、そこに対して位をされている。
0:59:37	確かに合ってるっていう情報がどれだけあるか。
0:59:41	いうことを、
0:59:47	日本ベースと関西の田仲です。ありがとうございます。認識の適用性につきましては、資料の方にお伝えさせていただいたけれども、
0:59:58	飲食物等へのインタビュー浸食について城野衛藤を卒業するということで、それまでにも必要例外させ、
1:00:10	今現在、原電さんがやろうと。
1:00:18	ら川の月曜においては、自己有能パラメーターを設定して、社長の支援流出量をするものになっておりますので、
1:00:27	うちのこういうパラメーター規模の設定ができれば、ラセル式が適用できると考えております。東海さんの廃棄物埋設地っていうのは、
1:00:38	一方のケース、土壌の形式等、傾斜勾配を、ケースがありますので、こちらの方を東海内の辺り、
1:00:51	団体をですね、入れまして、指定を見込んで評価をしているということで、東海3月中の状況を反映させていると考えております。
1:01:09	脇本になったんですけども、パラメーターであったりとかっていうところは
1:01:17	旅行の情報であったりとかっていうところが入手できるっていうようなところがあるかと思えますけども、実際にこのモデル自体が、例えばのTLDの意識っていうのは、基本的にはおっきな範囲、領域があってそこで、
1:01:33	斜面であったりとかから水が流れて度、土砂がどう流れていくかとかっていう、そういう評価をされるものだと思うんですけども、例えばもう若干をして、こういう覆土があっっていうこういう形状に対してジャモン中に入ってるモデルとして、
1:01:47	こういう考え方であったりとか計算モデル、インタビューの
1:01:54	契約であったりとかっていうのは適用できるっていうようなところを書かれているんですけども、実際の中に組み込まれてる計算式の考え方として、その経営者に対して、それが現象として使えるかっていうところについては、
1:02:06	少しもう少し説明を補強していただいたパラメータとしては、られれば計算自体はできるっていうのは理解できるんですけども、その9、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:15	Kさんっていうものの、現象のモデル化されてる現象っていうものが国道に雨が降った時に起こり得ると考えられる現象を適切に表現しているか、そこについての、その適用性みたいなところに少し説明いただきたいなというふうに
1:02:34	原子炉盤の中で過ごしありがとうございます。今教えていただいた現象というものを挙げさせていただきたいんですけども、
1:02:43	あと申されました通り、設置の状況を反映するとなると、パラメータの設定というところもあるんですけども、パラメータの設定の考え方自体が、
1:02:56	あとどういう状況を踏まえてこういうパラメータ設定になっているのか、そういうところの説明が不足しているんですけどっていうそういうご指摘も一つ、例えば、機能仕様書、衝撃があったりとかっていうところはこのパラメーターで、交換できていますとか、水の流れだったり、水が実際に流れたときにどう受けられるかっていうところ、
1:03:16	今そういう話はあるかと思うんですけども、私が福士になったのは、尺があって、水の流れの、この形だったりとか、そういう経路が狭められたっていうところに、
1:03:29	このケースのケース、
1:03:32	新所食うかなそうですね土俵進捗ケースっていうところで、与えたりはしてるんですけども、例えばこの件数であったりとかっていうところは、
1:03:45	どういう考え測量で、どういう水の流れがあって、どういう雨が降ってどういう起きたときに、
1:03:53	阻害するものとして若干後があって、そこの若干があることで、
1:03:58	例えばこの形っていうパラメーターの考えとしては、その植生があったりとか、木があったりとかそういうところの影響で、進捗が阻害されるっていうような、
1:04:09	もともとの使い方されるかと思うんですけども、逆に、実際このモデルを作った時っていうのは若干後があって意思があってそれで阻害されるっていうような使い方ももとは、
1:04:19	設定はされ、想定はされてつくられてないと思うんですけども、いや、
1:04:23	実際その本のモデルの作り方、植生があるっていう、木があるっていうようなところで、どう、そう解消。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:30	この形のパラメーターがどういう考え方で設定されるか、その設定の考え方をもとにある中で、じゃあ、峯さんの覆土の設定じゃ株があるって いう条件で、
1:04:41	このパラメーターを設定します。これは男と温度の考え方に即した形で設定されています。そういうストーリーがあれば、そのパラメーターを正しく設定してますって理解できるんですけども。
1:04:53	パラメーターについては、これを設定しました。じゃあ、このパラメータ本当にいいのかっていうところが少し見えないところがあるので、そこについて少しお聞かせいただきたいかなというふうに思います。
1:05:05	原子力安全の田仲です。細かいご説明ありがとうございます。よく理解できました。確かにご指摘の通り、ツリーそのものが、方向がある状態での接触っていうことを、ご指摘の通りだと思います。そこにおいて、ここで、
1:05:22	今日できる理由について細かいパラメーター一つ一つの設定で、それが実現象を踏まえた上でどういうふうに考えて妥当なのかっていうところで確かにあたりたいところがありますので、
1:05:34	その観点から、そこでしっかりスペースにさせていただいて、式が、とか予算等でも、
1:05:41	評価可能かっていうことをご説明申し上げ、
1:05:44	ありがとうございます。
1:05:48	規制庁の山田です。に関してご説明申し上げます。
1:05:54	侵食量は、
1:06:03	あ、
1:06:04	このケースでですね、進捗は事実だろうということ自体ね、徹底的にあり得ると思うんですけども、ここまで小さいっていうのはちょっと、
1:06:16	日本と関係ない。
1:06:19	ここまで小さいインターネット、もう一つは、もう1点。はい。
1:06:30	給付管理。
1:06:36	町方の特性をおっしゃっていただければ、直線ファクター、これを、
1:06:41	場所の特性を特定をさせているのではなくて、これは田井乾式というのが
1:06:50	他にありますので、
1:06:51	溜まって以降、設定をされている。
1:06:54	プラス、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:00	領家部長の粒径のものは3日、
1:07:04	年度のものを考えて、
1:07:07	いう想定で、
1:07:13	そうすると、今その裁量の少ないような状況のときに、周りをお持ちの粒径の数なんです、これが。
1:07:21	目下どうかっていう情報はこの中には実は入っていないんじゃないかと思うんですね。
1:07:28	そういう意味では、この修正ファクターを導出する、式の中に適用するがちゃんとあるんですか。
1:07:38	それから、
1:07:41	管理8%で、案内ですね。
1:07:49	二つありまして、分解した式もレポートを持って、
1:07:55	ヤマピーカバーという、
1:07:59	FAVORっていうのはもう、
1:08:02	違う絵にする。
1:08:04	あって緩和されて、
1:08:11	小掠%っていうのは下にある、あそこで、
1:08:16	エネルギーが
1:08:21	バッハ、
1:08:25	両方にしても、これは、
1:08:30	適切なかどうかということになると、実績があります。
1:08:41	その、
1:08:44	サブメイン担当店長、
1:08:51	N-S、
1:08:57	お詫びを作り、ちょっと
1:09:03	何が上流からこの異なってきた、だんだん、
1:09:15	を、
1:09:16	相馬%面で三つの集積されているというところを考慮されてない。
1:09:31	どこまで、
1:09:33	経験則です。
1:09:38	はい。背景として現象の理解があって、設定しているわけ。
1:09:47	はい。
1:09:50	あるっていう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:53	と。
1:09:54	もう少し、
1:10:01	日本原子力発電の小関ありがとうございます。大保。
1:10:05	本当には今いただきましたコメントについて、持ち帰りそのラベルについて、
1:10:11	最後はご説明しますが、回答させたいと思っております。冒頭で少し今ご指摘いただいたところを変えさせていただきますと、まず系の形成土壌進捗件数ですけれども、
1:10:23	労働者の細粒分のお話をさせていただきました。これについては第 10 表の 20 代、
1:10:33	日本にパラメーターとして行っておりまして、
1:10:38	こちらのM475 っていうあたりですね、こちらを打つにあたってその下の 5%と 95%ということで、
1:10:47	細粒分はどれぐらいかというところの、
1:10:50	値をつけるといいます。こちらで解決まで瀬野房総の土の状況というのを考慮していると。
1:11:00	いうところですよ。ご審議いただきました通り実際リョウソ食うがどうで、
1:11:07	その流速に対して流れとか流れない、そういうところは、このASTIのシキイにおいては、そういう硬めから出てきませんので、それにはそういう評価は、スタッフにはできないので、ちょっと補足できるものはあるかどうかもしかりですね。
1:11:26	あとカバーのケースですね、5 管理ケースCについてcanPとグラウンドカバーについてご審議いただきました。こちらについては、オープン。
1:11:39	どちらもっていうことなんですけれども、最後は衛藤5で、こちらも考慮しております。方向は実際にはその30センチの厚さがあって、
1:11:51	地面に設置してる部分と、部分と、あと方向の小石額積み上げていって、表面までいくってのが、その上でキャビティーというのは、すいません、ちょっと別で言うと葉っぱとかに、
1:12:04	定義があって、それで右に落とされてっていうケースがあるので、直接侵食面に落下しない場合は、このPのケースを考慮できるというふうに考えて、この表面に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:17	予定がなかったということ踏まえて、またグランドカバーにつきましては、1年、2、侵食されないものがどれだけあるかっていうところ、
1:12:30	広げる連携なっております、
1:12:33	医師が置いてある部分っていうのは当然、迅速されないで、そこの部分っていうのは、災害ということで、その場コールできるということでこれは
1:12:43	方向が両方ホールできないのは、いただいたと加えております。例えばその基でいきますけども、機能の部分で、
1:12:54	下の要望をして、機能でのところでランドポールするっていうものがありますので、同じような話かなと。
1:13:02	いうふうに考えております。
1:13:04	キャンペーン分の伝書の
1:13:07	計数のところで、56%面については、硬さ50%目の藪田ではなくて、上からくる、
1:13:17	5%ベースの長さも、マーケティング室については、この辺、
1:13:25	検討していただきたいと思います。以上です。
1:13:30	ありがとうございます。
1:13:35	ありがとうございます。
1:13:38	先ほどの
1:13:41	録音染色件数で、本管理係数の考え、それ自体はもう、
1:13:46	いるので、
1:13:48	クソ考えてらっしゃることはわかるんですけども、
1:13:52	そういうふうに考え、
1:13:55	の、
1:14:00	IV。
1:14:02	最初に申し上げましたようにこれはあくまでも経験質疑、
1:14:09	このページからメーターがタイプ3であるんですね。
1:14:15	経験をしていないところ、
1:14:17	考え方を有するってのは1件です。
1:14:22	なので、
1:14:24	全くないこともないんじゃないか。本当に行けるか。
1:14:33	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:36	日本原子力発電の仲です。ありがとうございます。はい、了解いたしました。路線をしっかり示したいと思います。ありがとうございます。
1:14:47	新任行かない。
1:14:51	34 ページで、
1:14:54	1 行目に工事の雨水の大部分はほぼ同層表面流れるって書いてある。
1:15:02	多分、常に言ってるんで、
1:15:05	理由を知りたいなと思って。
1:15:08	目いただいて、
1:15:15	日本原子力発電の田中です。薄井の大部分が、大戸装置の中で言ってるんですけども、こちら新旧対照表面流出の割合、飯野氏、資料をつけさせていただいております、こちらの方で 70%、
1:15:33	こちらで流出するということしております。その辺を踏まえて、大部分という。
1:15:41	以上です。
1:15:43	そうです。
1:15:46	5 スゴウはあれですね 3、資料 3 の、
1:15:51	5、9 ページ、ページ等、道路要綱とか、
1:15:57	すいません、この事おっしゃってるのかなと思ったんですけど。
1:16:03	はい。衛藤。
1:16:05	高野展なんですけども、
1:16:08	この道路土工要綱によると、ユースケースについて 0.7 から 1.0 程度の値が用いられる、例が多いのでっていうふうに書いてあって、
1:16:20	この A が多いからこれで良いっていうのがちょっとよくわかんなかったんですけど。
1:16:25	この考え方を教えてもらっていいですか。
1:16:29	はい。日本原子力発電の河内です。ご指摘いただいた、
1:16:34	円についてはどこ見ていただく。確かにこの通りのことを書いてないから 1.0 程度っていうところで、法面勾配がある部分についてはこういうところのニュースで設定されることが多いですよっていう情報がまずありました。
1:16:48	いうところがあったので、それを踏まえて、技術係数を弊社の施設でどう考えるかっていうの 2 行目のところに書いてありまして、流出自体はですね浸透なるべくここの浸透した方、させる方がいいって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:17:02	流れ出ない声の中では 0.7 の一番下でちょっと見ました。うん。それで評価をしますというところが書いてあるという状況にありますので、
1:17:12	この 0.7 っていうのが妥当だったのかどうかっていうのは
1:17:17	実際ちょっと浸透流解析で確認してみようかなと思ったのが参考資料でつけさせていただいています。このモデルを使って評価したところで、
1:17:28	最終的には 74% ぐらいの流出係数になるっていうのを受けましたので、この辺りとしてはある程度設計としてある程度の設定がされてるんじゃないかなというふうに考えているそうです。
1:17:44	ありがとうございます。規制と
1:17:48	4.7 から 1.0 っていうのが、何だろう。
1:17:53	その道路土工要綱とか見ると、その細粒だったら 0.4 から 0.5 とか、
1:18:00	この荒礫粒度とかだったら 0.1 から 0.3 とかっていう数字もあって、この 0.7 から 1. で -0 っていうのは、
1:18:11	下の何て言うんすか、つつくとかその内の材質っていうと変ですけど、そういうのに左右されるところがあるんじゃないかと思ってるんでね。
1:18:22	ちょっとこの 0.7 から 1.00. 7、後で、この解析と合ってるからっていうのもちょっと理由なのかとは思んですけど、まずその道路土工溶鋼
1:18:37	への、この数字を当てはめるっていう、その適切性みたいなところは、ちょっと説明し、
1:18:45	追加して、
1:18:48	日本原子力発電です。消防も含めてちょっと持ち帰りお願いしたいと。
1:18:57	ちょっと今のところで、この辺は確認させていただきたいんですけども。
1:19:02	そうですね先ほどの 0.7 っていうところが使えるのか、一応これが今の情報であると思うので、そこがバースと設定していいのか事故があるとは思んですけども、
1:19:16	岩の数値を流出係数として与えるのがいいのかというところを検討いただければと思いますけれども。
1:19:23	あとですねここに、この数値に関して少し確認をしたいんですけども、
1:19:31	以前、地質環境等の状態設定のところでご説明いただいたときに、特例の流出係数を使用してたかと思うんですけど。その間には、0.5 っていう数値を使用して、涵養量で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:44	その 0.5 が流出 50% プラス、蒸発量考慮して、涵養量をどれぐらいかっ ていう計算をされていたかと思います。今回は、
1:19:55	蒸発とかも考えて 70% がもう流出しますので、その残りが入ってきます っていう、そういう考え方はまずその 0.5 プラスハママツ 3 っていうと ころで考えるのかそれとも流出係数、
1:20:09	のみで涵養量を考えるのかってそこの考え方の違いがどうなのかって いうところと、あと、今後、0.5 の状態設定のところでは 12.5 を使用した っていう時に、
1:20:20	資料の中でも 1993 であったり、日本下水道協会の情報であったりと か、そこから流出係数を使用されていたんですけども今回のところ では、
1:20:32	道路土工容量の値を使用されているかと思います。出店マップ自立件数 っていうところを使うんですけども、出店ポートが別々のところから 引っ張ってこられて、
1:20:46	考え方も、少し差があるかと思うんですけども、ちょっと手元に差が 出てきてるのかっていうことについてはいかがでしょうか。
1:20:54	日本原子力発電の河内です。ありがとうございます。以前の地質環境の 状態設定でご説明したやつっていうのは、あの辺の周辺。
1:21:04	心機能地盤の浸透、技術力の打数でどう設定しますかっていう説明も使 って使ったので、以前、その辺りを浸透流解析の正面境界に使って という説明をしていましたけれども
1:21:21	ヒアリングの時にご指摘いただきましたように、
1:21:24	表面流出を、
1:21:26	考慮して、蒸発散を考慮した残ったやつをさらに方向で流すような形に なってるんでそれはダブルカウントの流出なんて聞き不適切じゃないか っていうご指摘をいただいておりましたんで、
1:21:37	ご指摘を拝承しまして、表面流出蒸発散量っていうの、この購買所状況 での、どれぐらいなのかっていう設定をする説明っていうのはなかなか 難しいとはご承知の通りであるので、
1:21:52	そこについてはよく登録までやられてるようなところの勾配があるところ 、どうなってるかっていうのがあったというところで、なのでちょっ と文献が変わって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:02	どこ横使ってみてみました。そうすると 0.7 から 1.0 っていう数字が出てきてますので、このあたりの下限値を使いましたっていうのはまずもっての設定の考え方のスタッフで、
1:22:14	ただ先ほどもご指摘いただいたようにそれが妥当なのかどうかっていうのをちょっと確認しておかないとさすがにまずいなというところで、C という解析でちょっと見てみましたというのが参考資料で示しているところになります。
1:22:27	本件につきましては承知いたしました。先ほど町長からご指摘あったような、この例でなんでいいのかっていうところについてのコメントだけ少ししていただいた。
1:22:38	できればというふうに思います。
1:22:41	以上です。ちょっと持ち帰り確認させていただきます。
1:22:52	矢崎瀬戸本間でございます。ちょっと悪いがあるんですけど、資料 1-1 の 34 ページに移りまして、
1:23:00	冒頭ですね覆土の公開物でちょっとこちらがどういうふうに思っていたか、ここで浸透水によるクレーンの影響評価というタイピングした評価をされてるんですけども、
1:23:13	我々懸念してるもう一つの岡井神門様は、その斜面ですね。
1:23:19	について、そういったものが起きるかどうかっていう検討はされてますでしょうか。
1:23:26	保健所関西の田中です。今教えていただいた後者の方のツリーについてですね、これ、今回の資料において、定量的な評価の結果を示してる部分はありません。
1:23:36	以上です。
1:23:38	はい。規制庁の比嘉でございます。こちらは我々としてはですねやはりその長期の安定性という観点が重要だと思ってまして、その滑りの崩壊に関しては従前議論されてる場の
1:23:51	あれの考え方をもとになったんですね。あれ、記者が書いたその廃棄物処分場が最終カバーっていう本マニュアルされてる本でもあるんですけども、
1:24:00	そこに簡単な評価式ですね、高角度 $\theta$ でこういったところがあってその上にこういった二つもそてるときに、要はこのウエノ層の重要ではこの社名方法の重要と、この会議に働く摩擦で滑るかどうかっていうのを評価できるし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:17	ありますので、そういうところが評価すれば、簡単に評価できるのかなという。
1:24:23	一つ、また
1:24:26	何て言いますか先ほどの排水量についてはへ、定量的にはまだ評価されてないってことだったんですけども 10分その主語が振ったとしても、
1:24:38	もう十分排水されてその斜面に水がたまることはないってのを示すことで、明日ではないってことをいっばいいくつか証明の方法あると思うんですけども、
1:24:47	ちょっとそのいずれかの方法ですってねそこ、すべて公開することがないというのは示していただければと思います。山田さん今の点それでよろしいですか。
1:24:59	もう、
1:25:03	オープンで、
1:25:05	連携グループって見やすい。
1:25:09	投稿してるのか。
1:25:16	関西の田部です。ありがとうございます。また、ご意見のご提示ありがとうございました。いただきたい。
1:25:27	A評価について申し上げまして、示してございます。以上でございます。
1:25:39	伊勢町の守田衛藤で私もちょっと 34 ページのところでお聞きしたいんですけども、
1:25:45	えっとですね、パイプのハウチンと別に腰のためにフットワーク抵抗性層の上部に、旧町採石を施工するというような形で変更されているんですけども、
1:25:58	パネルっていうところにこういう変形の方向性にするっていうところには異論はないんですけども、この流通碎石ってところが、実際にどのような
1:26:11	ものを、ぐらいに何を使うかとかって話ではないんですけども、例えば粒径であったりとかってところの情報が少し不足してるかなというふうに感じていますっていうのも、
1:26:22	実際報道層があって、流体力があって、もう腐って工程等があって、細かいものからだんだんだんだんがなくなっていくってような形になるわけになるかと思うんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:34	実際このパイピング防止ペーター防止っていう観点から、倉庫の流動、粒径がどれぐらいの並びになってるかっていうところが
1:26:45	詰まりをしているか、できるかっていうところでは非常に重要だと思いますので、やっぱりこういった傾向清掃があって、それに対してどれぐらいの粒径のものをまくのかっていうような、
1:26:57	そういうある程度同感で、どういう、沖田のものを敷いてきて取りに対して、それがその粒径の違い、粒径の差をもって、実際にパイピングを防止できるか、目皿に防止できるかっていう、そういう能力を發揮できるっていうのも、
1:27:16	ユーザーの関係性っていうのはどういうふうに考えてるかっていうのは説明を少し聞いていただきたいかなというふうに考えておりますが、いかがでしょうか。
1:27:24	同じ過程の中で少しありがとうございます。今ご指摘があった通り現状を流動についてはまだ具体的な記載がないという状況です。ご存知かと思うんですけども流動については、合併をしていただいた通り、
1:27:38	ウエノ止めるべき須永の粒度に対してどういうフィルターの流入するかっていうところ、流通されてるかというところ。具体的に設計にあたっては推測パイピングとかフィルターと言われるものを作って、
1:27:53	選定していくけども、これについては、守るべき対象のボリュームがこれだっていう感じで決まった上でそれに対して上限下限値を設定してその中でも、
1:28:05	見えるような粒径を増設してくれと、例えば施工の段階でかなり細かく
1:28:12	舗装のサンプリングを取った上でっていうのを的にやっていかないとなかなか難しいので、粒径について今の時点で決めるってのはちょっと難しいというのが一つ事実としてあります。ただ一方ですねご指摘いただいた通り、
1:28:26	上の方が細かく手段がなくなっていったってそのような関係をもってとれるんだというご指摘ですけれども、まずその通りでしてそこら辺のところが、
1:28:36	メカニズムとかですね、どれぐらいの粒度っていう、
1:28:39	考えて記載されていないところもありますので、こちらは湿性タイピング防止のメカニズムを踏まえて古井の湯版とか、或いは
1:28:51	リプライの貯油

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:54	そうやっていくのかというところについて、もう少し説明をさせていただきたいと思います。以上です。どうもありがとうございます今おっしゃっていただいたことになるかと思います。
1:29:07	その不足っていうところで、最終的に誘導を決めていくっていうところは、その通りだと思いますのでそちらも、実際にどういう考え方で、その砂であったりとかっていうところに対してどういう考え方で粒径を決めていくかっていうその、
1:29:22	考え方っていうところについて、あとは先ほどおっしゃられた現象について、どう防止するかってところの考え方を記載していただければというふうに思います。よろしくお願いします。
1:29:32	ありがとうございます。了解いたしました。
1:30:10	あ、すみません、規制庁の岡でございますちょっと今の点で1点確認させていただきます。流畅碎石の粒度はまだ決めてないということなんですけれども、
1:30:20	そこで決定若生ウエノ層からどのぐらいその掘削抵抗性層に落ちてくるその砂でしたっけ、粒径がどの、どのぐらいのものを伝えようとしてるかによって、その流況採取の設計で決まると思うんです。
1:30:34	もう、でもそこは決まってないということは先ほど掘削抵抗性層の透水係数を出す試験で砂を詰めてやったっていう、おっしゃったんですけれども、
1:30:44	そこで出た値分が、実際に
1:30:49	現場で起きる状態といいますかその褶曲とおそらくその収録状態みたいなものをIT医師、
1:30:55	もう、
1:30:57	その試験条件と、その今有償碎石の休憩含めてないという環境。
1:31:03	この関係といいますか、今回とられたCSOデータが、
1:31:09	実際に起きるであろうで、実際にその
1:31:14	結局先であろう、防水係数ないしは、それよりも保守的な条件になっている。
1:31:20	いうのは、何を持っているんでしょう。ちょっとそこは今、今、説明聞いてわかんなかったんで、
1:31:26	人間の感性の中です、ご意見ありがとうございます。小関の通りの点
1:31:32	だと思いますんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:33	そこについてはですね、流暢採石の大きさというのが、決めきれないってところで、ある程度一方で、おおよそのサンプリングが3点だけですけれども、取っていった程度どれぐらいになるのか。
1:31:49	見込みっていう、その上で調査が大体どれぐらいの、市販品でいくと、幾つかあるんですけど、そのあたりが使えるのかってというのは、大体今考えてるところがありまして、
1:32:02	それを踏まえた上で、その流通サイズの透水係数というのはどれぐらいになるのかっていうところを、考えているところです。で、今の見込みだと、流動最適の透水係数は、
1:32:14	大体スナバ活動の中のマイナス3乗のA棟とほぼ近いところに行くだろうというところ見込みをつけておりまして、当然、指摘なしで通して、
1:32:26	皆さんいることっていうのを確認しているものですので、そこについては、粒度損益の透水係数を踏まえて、当然、今の浸透流解析で可能なのかどうなのかっていう説明は、必要だと考えておりますし、
1:32:40	S H A K E ですね今透水今の事務処理解析の条件来モデルの設定等、変わるようなことが万が一あれば、その時はシンプル改善のところに入ってくる可能性があります。
1:32:53	そういうところをしっかりと整理したいと思います。はい、わかりました。ありがとうございます。
1:33:00	今の件については
1:33:04	よろしいんですけども、もう1点ですね、37ページのところですね、少しお聞きしたいことがありまして、
1:33:14	そうですね、こちらでですね。
1:33:23	47ページのところで、
1:33:29	江藤ですね上から三つ目のポツのところですね、建設系透水性舗装の上限を上げる新藤。
1:33:41	もう、流速ってというのが10のマイナス6乗メートルパーセクオーダーであるっていうんでこの広大であるっていうところで流れ出さないってというような、そういう説明がされている。
1:33:53	水の流れが緩やかであるため、流れていかないってというような説明になってるんですけども、こちらについてはですね、新交流解析で結構案になるかと思うんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:05	先ほどのお話にも少し関係するんですけど、例えば大藤でやったりとか、水が大量に入ってきたっていう時にも、これの箱の中のマイナス6乗オーダーっていうところ、これよりも速い流速、
1:34:16	汚れを上がったりとかっていうところがないのかっていうところは確認はされていますでしょうか。
1:34:22	論点のタナカです。ありがとうございます。今の10-60オーダーについては、まず大前提として、震度解析の条件でまずやっているっていうのをちょっと5分を想定した場合の、非常に強い雨が、
1:34:40	正当。浸透水が多くなるっていう条件もありまして、どちらもオーダーのマイナス6乗、当然僕の時の方が増えるんですけども、
1:34:51	この報道等が不暑いので、ほぼ、
1:34:55	S T'ところの実力で言うとそこまで聞いてからp. 5倍程度になるというところは、ちょっと見ております。
1:35:04	ました。こちらの情報っていうところは、今、資料の中にはそのところ書いてないんです。
1:35:13	本あの席していただけると、わかります。
1:35:19	いたしました。
1:35:29	支店長の山田でございます。今の雑誌なんです。
1:35:37	これ数字。
1:35:39	で、
1:35:42	訪問してますでしょうか。
1:35:54	もう少し言ってるか今日多分、違う、実際には、
1:36:01	係争に
1:36:05	水面ができて、その水面の水深に応じた流れ、
1:36:13	それに応じた自立になると思われます。
1:36:19	おっしゃってることっていうと、
1:36:22	もう1件、安全よ。
1:36:24	符号で流れている話。
1:36:28	だと思って。
1:36:30	実力をかなり受けた違うんじゃない。
1:36:41	日本建築課長の小橋です
1:36:45	ここは、基本的には抵抗性層ですので、ここは排水の役割を持っていて飽和してるってことはないんですけど、ただここが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:37:00	降雨が浸透して、流れている。その通りです。その中の、そのところに水面ができて、そこんところ、
1:37:16	ハウチン。
1:37:20	その間には、
1:37:21	もっと、
1:37:24	全体を、
1:37:32	名称が先行してその後検証しまして、おそらく解析のモデル上は均質なモデルがしかれてると思うので、そういった点で、この砂を詰めたところの水、
1:37:44	深さとかさみみたいなものを考慮されてるかってのは少し確認する必要があるのかなと思います。持ち帰り検討させていただきます。ありがとうございます。
1:37:56	教員にも関連するんですけども、透水性保証の
1:38:07	一つの数字
1:38:10	わかります。
1:38:11	水質のお話をお聞きしたい。
1:38:20	けれども、岩盤の中に、
1:38:28	打ち消して、ここ
1:38:32	そう。
1:38:35	3番の大和ソリューションの中においても、
1:38:41	起こらない服装のちょっと検討をしています。
1:38:51	相当低い流速でも、共有とかしたのがないってということが言われていると、一つの
1:39:01	指標となるのが、
1:39:04	4、4 京都市内、
1:39:08	い。
1:39:09	好みところイグニッション%できんですけども、
1:39:13	この
1:39:14	位。
1:39:15	もう来ないかなあ、流されるかどうかという指標において、
1:39:21	ファンデルワールスに対して、それを、平野宗と鶴間水野、それから清前、
1:39:33	あと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:34	はい。
1:39:35	16、向こうはこういったものがあったということで、検討してスケジュールを確認して、
1:39:44	ここの絵は、改正の影響が残っているので、ある程度言うことがあるために、こういうのが、
1:39:55	データ発注か押さえられて、こういうのはしない。
1:40:05	考えてる。
1:40:07	多分すると、
1:40:10	多生苑努力を知らせるのがほとんどたんす散水っていうか、ないところだと思います。そういう意味では、
1:40:21	これでもしやすい条件があるのではないかと思います。
1:40:27	都築さん観点からは、2.5、
1:40:34	C、
1:40:38	ことを、
1:40:40	あと、
1:40:43	表現消火栓のコアシですご指摘ありがとうございます。今おっしゃられたように和田さんがおっしゃられたようにイオン強度等は、少し確認する必要があるのかなと思っております。試験については純水を用いた試験でございまして、基本的にはも、
1:40:58	バイト密度が高、硫安、ベントナイト混合とのそういった成分が流出する方向での試験を、条件を設定していると考えてるんですが、
1:41:09	ちょっと今言われたようなところが本当に考慮されてるかというところは確認が必要だと思います。ますので、持ち帰りさせていただきます。市町において説明を追記させて、
1:41:18	いただきます。ありがとうございます。
1:41:20	試験もやられていって実証的な検討も進められているということは
1:41:28	梅田
1:41:30	心配しているような条件に、
1:41:36	いなければ、それはそれでいいんですけれども、どうなのかなというところをどう、
1:41:46	表現の端々です。承知しました。ありがとうございます。
1:41:52	そうです、改行の関係で45分からちょっと。
1:42:00	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:03	すいません。資料 1-1 でウェブで参加されてる方から、何かコメントとかありますか。
1:42:15	弘田です。はい。
1:42:17	聞こえますでしょうか。はい。聞こえてますよろしくお願ひします。
1:42:21	はい。お願いいたします。若干音声が乱れたところがあって私が聞き取れてないだけの可能性もあるんですがちょっと幾つか質問させていただきます。
1:42:31	若干の金属ワイヤーについてちょっと機能があったと思いますまた植生についてチョコセイじゃ 5m の植生がいいんじゃないかというような議論もあったと思いますが、
1:42:44	金属ワイヤーはですねおそらく 1000 年もたないので
1:42:51	それまでに腐ってなくなっちゃうと思うんですけどもそういったそういうなくなっちゃうであろう若干ウオーよりも植生の方、植生よりもこの方がいいといった、
1:43:02	根拠が、何回かをしていたように聞こえたんですがどのように回答してちょっと聞こえなかったのをお願いいたします。それが 1 点。
1:43:10	それと、これ一番勾配が急なところは、約 30 度ぐらい法面のところがあると思うんです。そこにおそらくジャカゴをベタッて貼り付けたような形になるんじゃないかなと。
1:43:24	イマヅを見る限りそう思うんですけども、これ、A 案区画っていわゆる側部っていうのに違う地点で調べると 28 から 34 って書いてあるんですね。
1:43:37	金属バリアがなくなったとしてこれが、この斜面が若干緒方へられるのか、まだジャカゴの下の保護層が客土伝えられるのかというのは、検証しているのでしょうか。
1:43:49	また通常の状態で耐えられたとしても、主雨の話が最初の方であったと思うんですが、集中豪雨とか台風とか来たときにもう問題なく耐えられるかどうかという継承はどのようになっているのでしょうか。この 2 点ちょっとお願いいたします。
1:44:06	もう原子炉は清野田仲です。ありがとうございます。1 点目につきましては、藤金属の、若干、若干高校の就職ワイアについては、藤 1000 年前と維持されないというふうに考えておりますので、1 回はないという前提で条件変更の方、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:23	政府方針であります。それを継続概要のない状態で、自然現象においてどのようなプラスだということは、ちょうど宇田さんからご説明させてありますので、審査資料の方に、追記していきたいと考えております。
1:44:38	また測線と方法の優位性についてですけども、こちらは同じ宣伝の状態設定をした時に、1000名後に、
1:44:48	維持管理ができない状態っていう、都会の特性を踏まえると、検出植生は維持管理をしてすることを前提で、進捗のコントロールをしていくという方針ですので、
1:45:02	1000年間加えたときに、方法の方が優位性がふうに考えておりますこちらの点につきますけど、メリットデメリットについて堀さんの方からご指摘ありましたので、その点を
1:45:14	成立させていただきたいと思っております。2点目にご指摘いただきました、30°、130のところですね、勾配56%目のところの、
1:45:24	安定性についてですけども、ご指摘いただいた通り、各仕事で考えております。衛藤一般的にモリタ長く30度程度ということで、まず30度、
1:45:38	以内である私方によると、擁壁不要となる研削度について、それから激しいイマツ40度以下担当労務、
1:45:49	35というのもありますので、それらを踏まえて30度というところで50%ですね。で結果、
1:46:00	しゃべるというふうを考えております。一方ですね、そう。
1:46:06	長期のの状態とですね等を踏まえての定量的な評価というのは、現時点では、施設資料には記載していないという状況です。
1:46:19	以上です。
1:46:22	弘田です。ご回答ありがとうございます。最初の質問に関しては追記いただけるということで、
1:46:30	回答がありましたのでそれはお願いいたします。で、30同の法面のところで豪雨については、記載がないというふうに言っていたように聞こえたんですがそれは、追記するとかそういう後、
1:46:46	等を行っていただけるということなんですか。それとも、
1:46:53	そうじゃないんでしょうか。
1:46:57	黒田さんすみませんちょっと最後の方が音声見られてしまって、もう一度お願いできますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:03	わかりました。ですね、集中豪雨の点について回答いただいた時に私がちょっと掴めなかっただけかもしれないんですけども
1:47:14	現在は記載がない。
1:47:16	というふうに回答してもらったと思うんですが、これは今後資料に追記するのでしょうか。
1:47:25	来ないでしょうか。
1:47:31	表現する幹事の田中です。申し訳ございません。ちょっと歯切れの悪い会議で申し訳ありませんでした。東郷につきましても、安定性の観点からですね、56%面がどのような設定を持つのかということについて、検討し、持ち帰り検討し、今後の審査資料の方で審査において回答させていただきたいと思います。
1:47:50	よろしいでございます。
1:47:52	わかりました了解です。A案組閣で調べた限りではAという形や、粒子形だったかな、形ですね。ええ。
1:48:03	によって角度が変わってくるもので今回の申請書でして示してきた報道等であったり、方向であったりっていうのが、何度なのかっていうのは、
1:48:15	その粒径や、粒子の形や粒子の何だと粒度の分布かというのも分布で変わってくると思うので、これ、
1:48:24	これで問題がないということをちゃんと検証した上で、設計していただければと思います。
1:48:30	よろしく願いいたします。
1:48:32	表現の方です。いたしました。ありがとうございます。
1:48:37	私からは以上です。
1:48:40	すいません規制庁伊礼でございます。今のちょっと確認したいんですが、
1:48:46	要は、設計の球場としてね、何を使ってるかっていうところがちょっと見えなくなる。先ほどは道路土工指針を使って、今は住宅食う移動指針みたいな。
1:48:59	こと言われてて、ある意味いいとこどりをしてるようにはしか見えないんですが、いわゆる設計思想として、
1:49:05	基本的な考え方としては道路法でやるなら、最初から最後まで道路どこでやる。
1:49:13	住宅。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:14	割と至近だったらそれでやるっていうふうにしたん完結性を持たせない と、ここはあっちこれはあっちから取ってくるっていうのは、基本的 に、こういうところでは使っちゃいかんというような、政治になってる はずなんです、
1:49:30	とは言っても、これで全部完結しない場合もあるので、そのときには他 の基準から持ってくるっていうことはよくやるんですけども、そこは少 し明確にさせていただかないと、
1:49:41	どう見ても、いいとこ取りっっちゃうか、都合がいいとこ取りに見えたん で、多分そうではないんだと思うんですがそこは少し明確にしていだ いた方がいいかなと。
1:49:51	いうふうに思います。
1:49:53	で、それはなぜかっていうと、例えば住宅は建築ですよ、道路土工は 土木ね、いろいろと使ってる材料とか今弘田からもありましたように使 ってる材料の範囲とか、そういうことが随分変わってくるわけですよ ね。そうすると、
1:50:06	ある意味が違うので、そこは少し整理をしていただいて、この部分 は、ここは適用範囲として十分だからこっちを使います。ここはこちら から、
1:50:17	適用範囲ありますっていう、まあさ、今日なんか冒頭から言ってます な、いわゆるこの基準が、この評価に対して適用性が他のいいんだよ と。
1:50:29	提供できるんだよということをちゃんと示した上で使っていないと、 それいけないっていうことでここがやっぱり設計ですので、そういう形 で必ずやっていただきたいなというふうに思ってます、
1:50:42	一般的に設計ある場合には、どの基準でやるかって優先順位を順番に並 べるんですよ、一番上、これでやりますんでこれなかった場合は2番 目でありますこれ。
1:50:54	にも適用がなかったら3番目っていうふうに、そういうふうに、上位か ら下位にするっていうのが一般的な設計、公共事業の設計になってます ので、
1:51:04	その十分あるから、いいとこどりしましょうっていうやり方は基本的に もうっていうのが基本的な考え方なので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:11	そこまで明確に書けとは言いませんが、どうしてこの沖順子が適用できるかっていうことはちゃんと明確に示していただかないといけないかと思ってます。以上です。
1:51:23	関西のタナカでご指摘ありがとうございますご意見の通りだと思いますので機器基準等のキヨセについてしっかりとぱっと説明できるようにしたいと思います。ありがとうございます。
1:51:34	ちょっとこれ、15分強ぐらいしかないんですけど進めたいと思います資料2-1で質問があります。
1:51:46	宮。
1:51:48	今んですけどってのはあまりない。
1:51:58	個別性それから効果性要因の種類、量、また、
1:52:03	ロット間でばらつきが入った。
1:52:08	基本的な情報というと
1:52:11	記載されてないと思うんですけども、
1:52:19	本件評価そのものです。ありがとうございます。組み上げるいうの。基本情報というか、一般的な情報という形でよろしいでしょうか。
1:52:36	地方、
1:52:40	基本特性というところがいいと思うんですね。これ自然なものですので、10名前取ったやつと、今って多分3、最終数値とか変わってきますので、
1:52:55	そういう意味で変わってないから変わってないで構わないんですが、義務のこういうデータっていうのがあんまりないんですね、実は。
1:53:06	他の量がやっぱあるんですけどいう点があんまりないので、いや、ここで算定されてる良い評価が、本当にいいのかどうかっていうのが実は判断できない部分があるので、そういう意味で基本的な、
1:53:21	良好というのを出していただきたいということになるわけです。以上です。
1:53:26	日本議長勝猪原です。ありがとうございます。
1:53:30	特有の
1:53:37	両方について資料を記載する意見とさせていただきたいと思いますけれども、
1:53:47	標高というのはちょっとすいませんイメージがわい。
1:53:51	メーカーで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:53	公表されてる化学組成とかですね、そういったものは、メーカーが保有するものでございますけれどもそういったものというイメージでよろしいでしょうか。
1:54:05	半分という話があって、
1:54:12	一番重要なのは、江藤内藤の丹いう、
1:54:19	それから、
1:54:20	名取博であるという木内チームですので、江藤、藤加瀬様 4 の、
1:54:27	書類量、
1:54:31	その独自版の組成、
1:54:39	調べても、質問、
1:54:43	かつて資料の方は、宮部さんと同じとすると。
1:54:49	すみません。
1:54:57	ありがとうございます。この右理由というのは国広五井湾の生成前段階みたいな、
1:55:10	商品ですので、基本的には、
1:55:12	補正が大体似通っているというふうに認識してございますけれどもそういったところの違いとかですね少し説明、
1:55:26	説明させていただきたい。
1:55:28	思います。以上です。すみません。ですから、ページでございます我々は、どこの産地からどの製品かっていうことを示唆していただいただけではなくて、
1:55:38	評価上、今言ったように、守らないとの含有量とか、空の例えば何という方とかそういうところが直接的に性能に影響してきますので、
1:55:48	今回、採用しようという材料がどういうものであるかっていうことを提示していただきたいということです。それが、タナカが何とかいうと株言わんっていうだけで、一応たまたまな話であって、
1:56:01	今回年度内としての性能をちゃんとを發揮するために、基本的なデータっていうのをお示しいただきたいというようなことです。だから極端な話別に、
1:56:13	それじゃなくても世界のところでも、極端な値、いいわけで、今回はどういう製品、製品ってごめんなさい性能の
1:56:24	組成のものを使いたいっていうところを明確にするということだと思っ んです。
1:56:31	二本木松村です。ありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:56:35	資料は、
1:56:37	検討したいと思います。以上です。
1:56:42	そのスゴウです。資料2、本件とかありますか。
1:56:50	よろしいですか。はい。
1:56:53	19 西湘に、
1:56:55	表面管理項目っていうのがああるんですが、
1:57:01	ポイントはよくわかりました。
1:57:04	ただ、品質管理ですから、
1:57:08	あるはずなんですよね。
1:57:10	院長が行く所、状態をいくこの間で管理しますよっていうのは一般的な品質管理だと思うんですが、
1:57:17	以上とかいいか。
1:57:19	冬と、分厚さみたいなことしかないんですがそこに管理値が来ない。
1:57:29	ということがあるので、そこはどうお考えかっていうことで、例えば院長とか以下でもいいんですが、院長、例えば透水係数だと10万、10条以下したときに、マイナス20乗でもいいんですかっていうことなんですよ。
1:57:44	そんな時に、今回の解析上の悪さが出てこないと、評価上は差が出てこないっていうんだったらそういう評価でもいいんですが、
1:57:52	鳥羽さんなんかはあんまりアツギ等を全体の構成が変わったりとかするので、多分そこに管理値が、
1:58:00	ある、それが一般的な品質管理本だと思いますので、もしそれが明記できるところがあればそこは出した方が
1:58:10	いいのかなと。
1:58:11	いうふうに思ってますのでそうしないとこれ、あくまで設計ですので、設計に対する施工ですので、
1:58:18	そこに感知がなければ、何、何でもいいみたいな話になってて、そこは明確に品質管理という意味では、ちゃんと認識していただいた方がいいというふうに思う。
1:58:28	議長。
1:58:30	はい。二本木社長、野村です。ありがとうございます。この品質管理の管理基準、管理値ですね、そういったところについては施工しながら決めていくものと、事前に設定して、縛っておかなければならないものとそれぞれございますと考えておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:50	事前に決めておかなければならない基準値というものについては、この資料の中に盛り込むように、検討したいと思います。以上です。
1:59:02	はい。きちっと入れてください。はい。そこは明確に分けていただいて、先ほどおっしゃったように、実績評価っていいですか、統計評価をするというのであれば、特にあんまり、
1:59:13	ここに管理庁要らなくて、最終的な透水係数の幅だけだけ入れとけばいいと。その代わり 100 個ぐらいいますよというなことで一方で、設計の中で、こういうふうに組み立てできますよってなったら設計の中で、管理値が当然出てきますので、
1:59:28	それはどちらの手法をとっていくのかと、全部 1 じゃないので、このことが設計に見るところは、施工管理の中でやるよと、そういうやり方もあると思いますので、そこはもう少し限度として、ところが、
1:59:43	評価としてしやすいなというふうに感じてるところです。以上です。
1:59:49	日本名勝活動ノムラは承知しました。以上です。
1:59:55	伊勢津山でございます。関連しましてもう一方、
2:00:01	1-2-1、19 ページにフロー管理基準、
2:00:09	一番最後のですね。
2:00:10	スポーツ変数を、
2:00:15	これどうくらいー。
2:00:17	いや、盛金城、どう位置づけるか増えそう平木。
2:00:23	というのは、
2:00:26	これたとえ 10 メーターピッチで測りましてしまうということであればですね、
2:00:34	もう逆で、大きくなって言ってたんですが、うちもそうですね。いや、おそらくそうではなくて、その前の方の
2:00:49	材料の確認を高瀬から施工の
2:00:53	その水を管理して、最後、もう決めて、
2:01:03	大丈夫です。どっかやるということはないと思うんですけども、あそこのないんで、
2:01:10	また最後、透水試験でも、それにですよね。
2:01:14	それによってその前の方の管理値の重みが全然違う。
2:01:21	そこは明らかにしていただきたい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:27	はい、三田村です。ありがとうございます。基本的な管理方法に関してはおっしゃっていただいた通りで、透水試験を行っていてやれば間違いないんですけどもそういう
2:01:42	透水試験、時間も非常にかかりますので、そういったわけにもいきませんので、基本的には大体指標で、施工地には管理している。
2:01:55	いうところで、そうはいきましても実際にサンプルを採取して透水試験をやるっていうのを考えてございましてここに透水試験と、
2:02:08	書いてあるので、何点かある頻度で、最初の
2:02:16	透水試験にかけて、後から事後的に確認して間違いないということを確認するということになります。
2:02:25	ですのでちょっとその頻度とか、どちらをそんなに重きを置いているかというところについてはちょっと資料の方に、そういったところがわかるように反映させていただきたいと思います。
2:02:42	よろしいですか。ちょっと時間がすいませんあと7分ぐらいしかないんで資料3に移ってコメント等がありましたらよろしくお願いします。
2:02:57	もう、このでかいご回答いただいて、ヒアリングでこっちへ報告いただいても構わないんですけども、10ページのところで、少しないところがありまして、
2:03:10	そうですね、今回10ページのところの、オープンスペースの黄土層と、掘削抵抗性層のところの
2:03:19	利益が、前は両方両者同じ値を使っていたんですけども、今回、分けて述べて設定するようにしたっていう形になってるかと思います。
2:03:28	で、別々に分けて変更を加え分ける形に変更したっていうことが書かれているんですけども、なぜ分ける、これまで一緒にしていたものをなぜ今回分けたのかっていうところの理由についてもう少し、
2:03:42	説明はしていただきたいというところが1点で、抜けてですね、
2:03:50	悪天候戦争の方が1といった10のマイナス3乗と4乗、放送と比較してですね、1桁違う予定になってるんですけども、お客さん
2:04:02	全国社葬の中に砂を詰めた状態っていうところで、ポーションところ砂であるっていう、材質II自体は砂であるというところでは近い状況になっていて、実際その締固めの状況であったりとかによって、
2:04:15	調整係数も変わってくると思うんですけども、このような1桁差が出てくるっていうところについては、どういうふうな違いがあるかっていうところについて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:26	説明していただきたいというところが、2点目にありますんで、もう1点、3点目が、ですねこの1110ページのところっていうのは、補正係数は、
2:04:39	別な値を使ってって言うてるんですけども、そのあとのですね10位。
2:04:45	23ページのところでですね、こうこう学生のところでは、一方で掘削抵抗性相当訪露層で同じ値を使ってってというような形になっていて、
2:04:56	別々の値を使っているところもあれば、同じ値を使っているというところもあって、少し足並みがそろってないような印象を受けるので、パラメーターを一緒にするか、別々にするかっていうその使い分けをどうしてるかっていうところについてもぜひ見ていただければと思います。
2:05:12	今回は時間ないので、この3点について議会でもご説明いただければと思います。
2:05:17	手嶋。
2:05:18	越智会長です。
2:05:20	6年度版です。
2:05:23	はい。はい。
2:05:24	もう時間もあれ、時間。
2:05:31	店長に坂野さんです。
2:05:36	埋設地への新法をいただき、
2:05:46	えっと、
2:05:47	多分以前として理解しなさい、流れにしていると思っております。
2:05:54	いろいろ検討したところですね、一つ係数の最低値を入れて1時で打ち切る進展、
2:06:01	これも根拠です。
2:06:06	いえ、
2:06:17	これもいいですか。次回、次回、越塚さん。
2:06:24	ちょっと各詳細確認して最終的に準備しております。
2:06:28	ヒアリングまだある。
2:06:32	ありません。
2:06:35	嘉門っす。
2:06:39	詳しい方を、
2:06:50	この2人は、
2:06:52	いや、けれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:59	以前と比べて、ヶ月たっているんですが、
2:07:06	膨らむ、
2:07:08	今後、
2:07:10	今後のところ、何段階に行った、
2:07:15	上の方、
2:07:17	になっているんですけども、残ってるかっていうと、どう、
2:07:23	はい、宗小関を1桁上げたために、いわば全体が斜めになって少しこう折れた形になっていて、本質は、さっき、
2:07:35	その原因としては、
2:07:38	透水係数月っていう、
2:07:45	問題じゃなく、いや、これが別々にあって、どういうふうに使われてる設定ですっていうことであればですね、そう言っているんですけども。
2:07:58	ちなみに
2:08:01	手間分でできるわけませんが、0.1キロしないときにどうなるかっていう。
2:08:07	憲法。
2:08:09	もし、
2:08:15	自分も、
2:08:17	普通に言われてるような、水の流れ方を、じゃないかと。
2:08:25	次回でもいいかもしれないけど教えて欲しいんですけど今山田さんがご指摘いただいているの普通の流れというのと、今お示ししている結果で
2:08:39	の、どういうところを懸念されてるかっていうのは、具体的なところを教えていただけたらすると、理解しやすいですよろしいですか。
2:08:49	先月、高井です。蒲生。
2:08:55	2人でやる、いいと思うんですが、
2:08:59	交付できるかっていうとですね、事業費、
2:09:06	はい。
2:09:11	ね。
2:09:11	その時に、
2:09:13	普通順調です。
2:09:17	グーンはどうなるかっていうと大体このパック洗浄、
2:09:23	第1、
2:09:25	イです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:30	どうせこういう値ではない。
2:09:36	で今言われ、その計算でそんな努力というと、全体のその、
2:09:43	あほ。
2:09:46	兵頭角谷博士。
2:09:53	コメント、全部があんまりそのレンジが変わらないような、
2:09:58	何を言いますというと、
2:10:01	理想とかですね寒そうが、
2:10:04	遅い。
2:10:06	ほぼ水を吸い上げて、
2:10:12	それなぜかっていうと、透水係数が 0.21 になってしまってるから、そんなに圧力の方で何とかしようとして、
2:10:31	はい。よくご相談、部長の方が間違ってるっていうことであればですね、もちろんそういいと思うんですけども、
2:10:45	いろいろ試してるだけで、
2:10:47	止まっちゃってる。
2:10:52	違うっていうね、この前言っていたその
2:10:56	流総担当だとか、新保手嶋って、
2:11:02	はい。
2:11:06	よろしいですか。
2:11:07	はい。ちょっと時間がすみません。
2:11:10	てしまったので、
2:11:13	ヒアリングとしては以上で終わりにしたいと思いますけども最後なんか、どうしてもって言うのがあれば、
2:11:19	一つぐらい、よろしいですか。大丈夫。はい。また本日の指摘踏まえて資料そうですね整理いただいて、コメントを踏まえてまた資料修正します。はい。ちょっと提出時期はまた別途ですね、ご連絡いただいて、
2:11:37	はい。米持顧問そうですね。わかりました。はい。
2:11:42	では本日のヒアリング以上で終わりにしたいと思いますありがとうございます等ございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。